

2023年2月16日
第22051号

JTA、14号機導入について

日本トランスオーシャン航空(本社:那覇市、社長:野口望、以下 JTA)は、ボーイング 737-800 型機の追加導入(1機)を決定しました(*1)。現在同型機を 13 機運航しておりますが、今回の追加導入で 14 機体制となります。

この 14 号機の導入により、関西=宮古線の通年運航が実現することに加え、日本航空(JAL)の羽田=小松線ならびに羽田=岡山線の一部便を JTA が運航(*2)するなど、沖縄観光の需要喚起と JAL グループの路線ネットワーク維持に努めてまいります。

今後、就航前整備、検査など諸手続きを終え、7 月頃の運航開始を予定しております。

JTA はお客さまの利便性を高めると共に、これからも空港・機内においてお客さまと共に常に衛生的で清潔な環境を作り、ご安心頂ける空の旅を提供してまいります。

(*1) JAL からのオペレーティングリース形式

(*2) JAL との部分共同引受運航

【14号機の概要】

メーカー: Boeing(ボーイング)社 737-800 型機

座席数: クラス J/20 席 普通席/145 席 合計/165 席

以上

